



令和2年12月に秋田自動車道の一部である鷹巣西道路が開通し、伊勢堂岱インターチェンジも供用開始となりました。ご存じのようにこの名称は伊勢堂岱遺跡にちなんだものです。インターチェンジの名称は自治体名、方角、隣接する地名などを考

第3回
内陸線「秋田縄文号」から縄文文化を解き明かす



伊勢堂岱遺跡はユネスコ世界文化遺産への登録が近づいています。このコラムでは、伊勢堂岱遺跡について、発掘・保存など最新の研究を交え、改めて紹介したいと思います。

令和2年12月に秋田自動車道の一部である鷹巣西道路が開通し、伊勢堂岱インターチェンジも供用開始となりました。ご存じのようにこの名称は伊勢堂岱遺跡にちなんだものです。インターチェンジの名称は自治体名、方角、隣接する地名などを考



▲縄文小ヶ田駅

人が盛んにイロ力漁をしていた痕跡が見つかった真脇遺跡にちなんで命名したようですが、この駅は鉄道の廃線とともに廃止となりました。

さて、その秋田内陸線は令和3年2月13日から「秋田縄文号」を運行しています。秋田縄文号は内陸線沿線の縄文遺跡をイメージに改修されました。

この列車の車体外装には、縄文土器の文様が大胆に描かれています。この文様はS字のような模様が連続し、学術的には「入組文」などと呼ばれています。このような入組文は今から約4000年前に秋田県北部



▲秋田縄文号

と岩手県北部から青森県、北海道南部までの地域で流行した文様で、伊勢堂岱遺跡でもこの文様の土器がよく出土します。

一方、秋田県南部ではこのような土器は出土しません。県南の縄文遺跡は山形県で出土する遺跡と同じような文様が流行します。現代でも県北と県南では、方言や食文化が違うように、縄文時代からすでに地域性が分かれていたようです。

県北から北海道にかけての地域では、同じような文様のついた道具を使い、環状列石のような特殊な遺跡をつくり、同じようにマツリをしていた可能性もあります。そのため、この地域範囲で世界遺産を目指しているわけです。

ところで、車両に描かれている秋田犬は、縄文土器には描かれていません。縄文文様のように違和感なく書かれていて、デザイナーの方の遊び心が伝わってきますね。コロナ禍が落ちついたら、素晴らしいデザインの秋田縄文号で旅に行きたいものですね。



- 公民館活動
- 生涯学習
- 文化振興
- 学校
- スポーツ

～地域で学び、活動する皆さんを応援します～

北秋田市教育委員会



学びの広場



鷹巣の大正・昭和時代にタイムスリップ

～高鷹大学・グッドライフ講座合同学習会～

高鷹大学とコムコム定期講座「グッドライフ講座」の合同学習会が、2月18日に北秋田市文化会館で行われ、それぞれの学生と受講生79名が参加しました。

この日は、文化会館職員の佐藤伸氏が講師を務め、旧鷹巣町の大正・昭和時代の映像や写真を見ながら歴史を学びました。写真の中には、北秋田郡立農林学校（後の鷹巣農林学校、現秋田北鷹高校）の創立当時の様子が写されたものや、当時の鷹巣駅前の商店街が賑わっている映像が映し出され、参加者たち



▲写真を見ながら説明を聞く参加者たちからは感嘆の声が聞かれ、思い思いに当時の様子を振り返りながら熱心に説明に聞き入っていました。

「ありがとう」を伝える絵本

～定期講座「大人が楽しむ絵本の時間」～

コムコム定期講座「大人が楽しむ絵本の時間」が2月12日に北秋田市民ふれあいプラザで開催され、受講生13名が参加し、大人が絵本を読む楽しさや絵本に込められた意味を学びました。

この講座は、絵本セラピストの木村加奈子さんを講師に迎えて昨年6月から毎月開催しているもので、気軽に絵本を親しんでもらうことで、自分の感情に気づき、更に他者への理解を深める内容となっています。定期講座として最終回だったこの日は、「あ



▲絵本を見ながら説明を聞く受講生「ありがとう」をテーマに様々なありがとうの表現や伝え方を絵本から学びました。

地域の方々と触れ合うことで前向きになれた

～第2回北秋田市生涯学習奨励員協議会～

2月26日に第2回北秋田市生涯学習奨励員協議会が開催され、奨励員と地域ボランティアなどあわせて17名が参加し、今年度の活動を振り返りながら思いを共有しました。

ゲストスピーカーに秋田大学北秋田分校長の三浦栄一氏と、英語塾主宰の河田みほ子氏を迎え、「歌で綴る教育へのエール」を題材に、教育現場における学校・家庭・地域について語り合いました。

生涯学習奨励員の高校生からは、生涯学習のパイ



▲詩「先生あのね」の朗読も披露
ブ役として2年間の活動をしてきたことで、自分も前向きな姿勢になれたなどの発表がありました。